

122号から若者に焦点を当て、インタビュー記事を掲載しています。今回は高知西高校の田中亜海さんと小松来瑠さんに、お伺いしました。



こまくる
小松来瑠さん
高知西高校 普通科
越知甲



たなかあみ
田中亜海さん
高知西高校 英語科
越知甲

連載：若者登場⑬

議会です
こんにちは

問 新型コロナウイルスで部活動には、どのような影響がありましたか。また、どのような気持ちになりましたか。
田中 コロナ感染者が増えだし、2月くらいからクラブチームの練習がなくなり、水泳を続けるかどうか本当に迷いました。
小松 クラブチームと学校で泳いでいましたが、どちらのプールも使えなくなり、「やばい！」って感じでした。

問 高校卒業後の進路は。
田中 医療系の大学で看護師になる勉強をしたいと思っています。
小松 鍼灸師になりたいと思っています。医療福祉の勉強もしたいです。

問 越知へ帰って来て働きたいですか。
小松 まだ決めていません。
田中 訪問看護や地域医療を目指したいので帰ってきたいです。

問 議会だよりを読んだことはありますか。
田中 おばあちゃんに言われて見ようと思っていました。先輩が出だしてから見えています。小松 まだ読んでないです。
問 政治に興味は。
2人 そこそこです。

問 越知の良いところともっと良くしてほしいところは。
田中 近所の人と仲良くおつきあいできているところがいいなと思っています。
小松 川があってキャンプもできるので、もうちょっと交通が便利になったらいいなと思います。

* 本日は、お忙しい中、ありがとうございました。
目標に向かって学生生活を楽しんでください。(取材班)

議会を傍聴しませんか
9月定例会の傍聴者は延べ4人でした。次定例会は12月4日開会の予定です。大勢の傍聴をお待ちしています。



編集後記

新型コロナウイルス「第2波」のピークは、越えたように見えるものの、全国で連日500人前後の新たな感染者が出ています。
9月定例会は正副議長の選挙と各常任委員の改選が行われました。
今号は、決算審査や7・8月の臨時会、一般質問では7人が登壇するなど、多彩な内容になっています。
議員になり2年が経過し、広報委員として、編集作業や写真撮影などを行ってきましたが、町民の皆さんに果たして伝わっているのか自問自答しながら作成をしています。これからも、多くの町民の方に議会だよりを見ていただくよう読みやすい紙面の編集に努めてまいります。

《森下》

編集・発行責任者	議長 長寺村 晃幸
議会広報常任委員会	委員長 高橋 文一
	副委員長 箭野 久美
	委員 市原 静子
	委員 小田 範博
	委員 森下 安志

※分かりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せください。

おち町

議会だより OCHI TOWN

No 134

2020 (R2) 11/1
高知県越知町議会

大勝利
9/13 (3面参照)

9月定例会

令和2年度一般会計補正予算5億1457万円

- 2P 光回線(町内ネットワーク工事)・プレミアム付き商品券など
- 6P 使いい道を徹底検証(決算審議)
- 15P ふるさと寄付金、農業、防災など7人が問う(一般質問)



ピックアップ

一般会計補正5億1457万円

9月定例会は、4日から9日まで開き、元年度各会計決算10件を全会一致で認定、2年度補正予算など9件を可決しました。
一般質問「15面から」は7人がふるさと寄付金、農業、防災対策などの町政課題について執行部をただしました。

情報通信基盤整備 光回線(町内ネットワーク)

1億
5960万円



Wi-Fi接続できる環境が整えば安心(谷ノ内地区)

計画を前倒しして整備地区を拡大する。対象地区は、太平・中大平・五味・片岡・南片岡・黒瀬・谷ノ内・宮ヶ奈路の8地区。

補正予算

一般会計

Contents No.134 Nov 2020

- 2P 令和2年度補正予算
ピックアップ
- 4P 元年度決算
財政調整基金2年連続
取り崩し
- 6P 決算審査会
使い道を徹底検証
- 11P 議案質疑
越知のまち小屋建築工事
など
- 13P こんなことが決まったぜよ
議会の組織変更
- 15P 7人が一般質問
ふるさと寄付金、農業、防災
対策など
- 23P 広域議会
- 24P 議会ですこんにちは
連載：若者登場⑬

今号の表紙



中学校体育祭は、時間短縮・規模を縮小しての開催となりましたが、「コロナに負けるな」の掛け声のもと若いエネルギーで満ち溢れていました。



活用が望まれる荒廃林

林業振興 間伐・原木増産補助金

81万円

林業機械レンタルの補助率を1/2から10/10にを嵩上げ。搬出間伐は、1ha当たり3万7千円の上乗せ補助など。

コロナ関連対策 プレミアム付き 商品券

1160万円



取り扱いは60店舗程度

町内に住所がある全員を対象にプレミアム付き商品券を販売し、消費の回復を図る。1冊(5千円)を4千円で購入できる。

令和2年度補正予算

会計名	補正額	総額	賛否
一般会計	5億1457万円	63億2671万円	賛成全員
特別会計			
下水道	166万円	1億7064万円	
国民健康保険	731万円	7億7836万円	
介護保険	32万円	11億3526万円	
後期高齢者医療	154万円	1億2360万円	
横倉山自然の森博物館	69万円	3084万円	

元年度一般会計歳出決算47億4862万円

財政調整基金2年連続取り崩し



災害用品の備蓄を優先して取り組む(災害備蓄倉庫)

監査委員意見・要旨(須内康仁・山橋正男)

一般会計

普通建設事業費の減
前年度に比べ歳入で、3億2032万円、歳出で2億9817万円の減額となった。
キャンパ場などの工事が前年度にほぼ完了となったため、普通建設事業費が6億7382万円の減額となった。
平成30年度に続き令和元年度も財源不足を補填するために財政調整基金から6400万円の繰入がなされ、2年連続の基金の取り崩しとなっている。
しかし、特定目的基金

普通建設事業費の減
平成28年度から4年連続して積立努力をし増額となっている。
元年度末の町債残高は63億4476万円と前年度より減少しているが、依然として多額の借金となっている。
新型コロナウイルス感染症拡大で日本経済に多大な影響が出ている中、地方財政も一層厳しい状況が想定されるので、財政の中・長期的な見通しをしっかりと立て、さらに慎重に財政運営をしていくことが極めて必要である。

元年度会計別決算額

会計名	歳入	歳出
一般会計	47億5573万円	47億4862万円
簡易水道	4680万円	4573万円
下水道	1億8061万円	1億7723万円
国民健康保険	7億2639万円	7億2125万円
介護保険	11億4242万円	11億690万円
後期高齢者医療	1億2203万円	1億2081万円
土地取得	429万円	429万円
蚕糸資料館	19万円	19万円
自然の森博物館	2672万円	2672万円
水道会計	5375万円	4338万円
合計	70億5892万円	69億9513万円

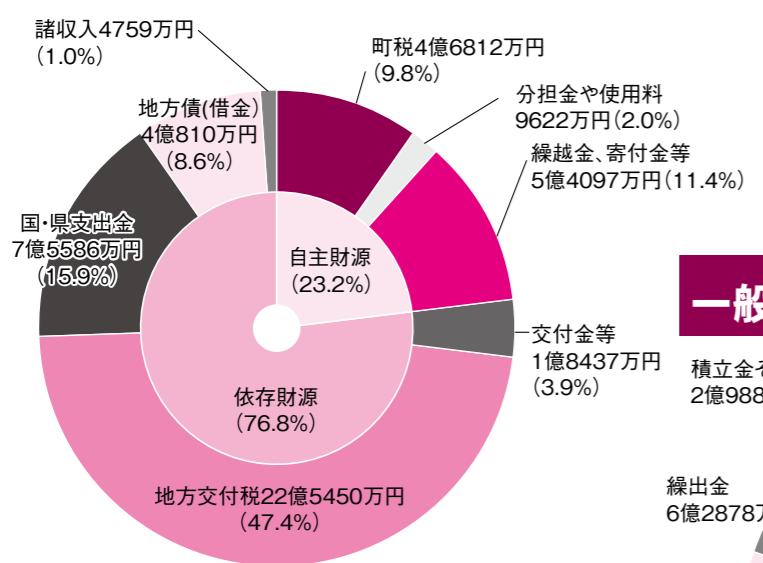
水道会計

簡水と上水道が統合
2年度から簡易水道事業と上水道事業が統合し、1つの企業会計となる。
漏水対策に万全を期するなど、健全経営に努めてもらいたい。

町民1人当たり87万円の支出

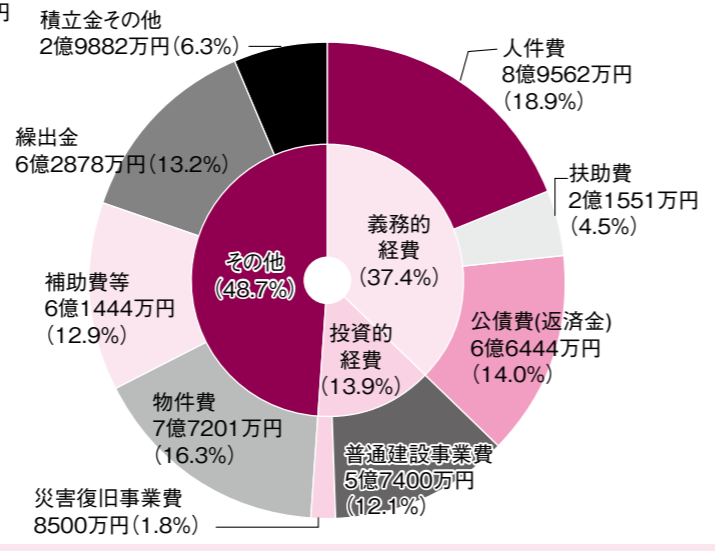
(令和2年3月末現在人口5466人)

一般会計歳入47億5573万円



元年度の各会計決算と基金の運用状況は、9月定例会で審議し、全ての会計を全会一致で認定しました。
【審議内容は6〜9面】

一般会計歳出47億4862万円



町債(借金) 残額63億4476万円
(対前年2億2972万円の減)
基金(預金) 残金21億8307万円
(対前年4328万円の増)

町財政の健康診断

基準を下回り『健全』

元年度決算の財政健全化判断と公営企業の経営健全化判断は、いずれも健全化基準を下回っており、赤字や資金不足は生じていない。
今後も財政状況は厳しく、数値が悪化しないよう慎重な財政運営が求められる。

会計名	資金不足率	健全化基準
水道	不足なし	20.0%
簡易水道	不足なし	20.0%
下水道	不足なし	20.0%

財政の健全化判断		
指標	健全化判断比率	早期健全化基準
実質赤字比率	赤字なし	15.0%
連結実質赤字比率	赤字なし	20.0%
実質公債費比率	7.7%	25.0%
将来負担比率	44.2%	350.0%

用語(指標)の説明
●実質赤字比率 普通会計の標準財政規模に対する赤字の割合。
●連結実質赤字比率 町の全会計の標準財政規模に対する赤字の割合。
●実質公債費比率 町の標準財政規模に占める借金返済の割合。
●将来負担比率 町の標準財政規模に対する将来支払う負債の割合。350%以上で早期健全化団体となり、財政健全化計画の策定が義務付けられる。
※標準財政規模 補助金や借入金を除き、標準的に収入が見込まれる財源の規模。

令和元年度決算審査会

使い道を徹底検証

【賛成全員で認定】

元年度の決算認定に係る決算審査会は、9月7日に全議員が出席して開催し、執行部に対しお金の使い道の徹底検証を行いました。



3密を避けるため幹部職員各課2人に制限して行った決算審査会

【一般会計】

総務課

毎年増えているが、内容は

高橋 公営住宅管理代行業務は1299万円と毎年増えているが、内容は

水回りの修繕が増えた

井上総務課長 人件費、管理費、修繕料である。

老朽化による突発的な水回りの修繕が多数増えたことによる。

住民課

増額している理由は

小田 戸籍システム機器借上料は、平成30年度に比べて53万円ほど増額しているが、理由は。

新しい機械を入れた

西森住民課長 令和元年度に新しい機械に入れ替えた。

補助金の内訳は

岡林 みんなで備える防災総合補助金20万円の内容は。

視察研修に3人参加

上田危機管理課長 高吾

北管内の女性防火クラブの視察研修費用で、今成女性防火クラブの3人が参加した。



昭和53年度に一棟目が建築された小舟団地

企画課

増えている内容は

箭野 ふるさと納税プロジェクト支援業務は、平成30年度と比べて900万円くらい増えているが、内容は。

寄付金額が増えた

大原企画課長 一番大きい原因は寄付金額が増えたことによる。

ふるさと納税の寄付を受け付けるサイトの委託料が寄付額に対して5%であったが、サービスを充実させ8%に上がった。

収入の内容は

武智 よこジローPRグッズ作製業務444万円と、収入100万円の収入は。

大原企画課長 PR用に無料で配るものは、うちわ・ペーパーバイザー・ボールペン・付箋、販売用は、フェイスタオル・マスクングテープ・クリアファイル等、他に顔出しパネルを作製した。収入は、よこジローのグッズ代とピンバッチ協力金である。

かわの駅に日ノ瀬は含まれているか

武智 かわの駅キャンプ場の指定管理委託料1698万円の中に、日ノ瀬のキャンプフィールドは含まれているか。

また、キャンプイベント開催300万円の委託先は。



第1回おち・まち・そとあそび



仁淀ブルーで美人を発見

活動内容は

西川 仁淀川特産市実行委員会負担金10万円の活動内容は。

イベントで出店をした **大原企画課長** 実行委員会は、越知町、佐川町、仁淀川町、日高村の4つで構成をしている。

高知市で行うフェスティバル土佐ふるさとまつりに出店をした。

また、日高村の茂平マラソンに出店し、食に関する特産品のPRをした。

事業の成果は

武智 キャンプイベント開催300万円、この事業の成果は。約2200人来場、数字に見える成果はない

日ノ瀬も含まれる **大原企画課長** 日ノ瀬も含まれる。かわの駅管理条例は、日ノ瀬と宮の前を合わせたものである。キャンプイベント開催は、南国生活技術研究所に委託している。

大原企画課長 第1回おち・まち・そとあそびを委託事業として、宮の前公園を使い、約2200人が来場した。また、「首都圏へ売り込め空飛ぶキャンプ誘致」企画でPR活動をしたが数字に見える成果はない。



ふるさとチョイスのホームページより



森林施業集約化のためにも国土調査完了が急がれる

進捗状況は

市原 国土調査の進捗状況は。後何年掛かるのか。44・44%

田村産業課長 調査完了面積が、47・54km²、進捗率44・44%。調査残面積が59・44km²である。令和38年度終了の試算になっている。

不用額の内容は

市原 国土調査の進捗状況は。後何年掛かるのか。44・44%

田村産業課長 プレミアム付き商品券事業で22%の申請

田村産業課長 プレミアム付き商品券事業で1730人くらいを予定していたが、非課税世帯344人で21%、子育て世帯31人で41%、全体で22%の申請となった。



1羽で500g/日の魚を食べるカワウたち

内容を

森下 鳥獣被害対策実施隊の内容を。

カワウの駆除

田村産業課長 カワウの駆除に2人が2回出動した分である。

環境水道課

何件分か

岡林 浄化槽設置整備事業補助金174万円は、何件分か。5基分である

岡田環境水道課長 5人槽が4基と7人槽が1基の合計5基分である。

教育委員会

増えている理由は

市原 スクールソーシャルワーカー謝礼金が平成30年度より増えているが、理由は。時間数が増えた

谷岡教育次長 2人分

谷岡教育次長 2人分ではないが、相談を希望する家庭、子どもが増え、時間数が増えたことによる。

観光振興事業の内容は

市原 学校給食費の需用費不用額182万円の内容は。笑い事業、落語教室、おち1グランプリなど

武智生涯学習課長補佐 淀家萬月さんのおち駅での笑い事業と小学校での落語教室、町民会館でのおち1グランプリ、高齢者を対象とした落語教室の事業である。

不用額の内容は

市原 学校給食費の需用費不用額182万円の内容は。笑い事業、落語教室、おち1グランプリなど

谷岡教育次長 2年3月に学校が休校になり、給食用食材が不用となった。



コロナ対策のためスクリーンを張ってます

【企業会計】

大きな漏水の修理はできた

環境水道課 上水道

漏水への対応は

武智 水道決算で有収水量率が、平成30年度より2・8ポイント下がっているが、漏水への対応は。交換すると、年間で1万5800m³。元年度配水量から除くと有収率84・6%で30年度の85・5%に近い数字となっているので、大きな漏水の修理はできたと考えている。

大きな漏水の修理はできた

国貞保健福祉課長 督促

督促書は出している。また、電話でも対応しているが、頻繁にはできていない。

教育委員会

博物館

利用人数は

市原 博物館蔵入の観覧料には、キャンプ場を利用し割引された分があると思うが、利用人数は。人数は分からない

谷岡教育次長 割引をした人数は分からない。

その後何人が納付されたか

市原 学童保育負担金の未納割合が多いが、本来の趣旨を保護者に理解してもらっていないように思う。その後の徴収方法と何人が納付されているか。

谷岡教育次長 授業改善のための講師の招集、人権教育の充実、学級づくりに関する教職員の研修である。先進地の視察研修、H O S T 作文指導等の手数料である。

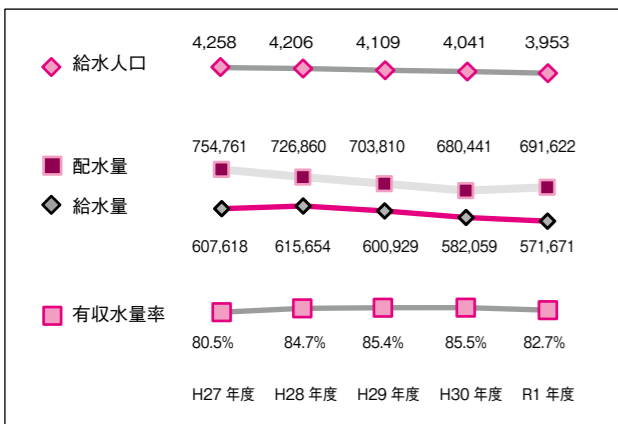


全ての教科に力を注いでいます

【特別会計】

谷岡教育次長 割引をした人数は分からない。

上水道有収水量率の推移 単位：m³



一般会計補正

危機管理課

自主防災組織整備補助金 110万円



全ての自主防災組織に防災倉庫が完備となる(中大平地区)

整備地区は

岡林議員 自主防災組織整備補助金の整備地区は。

上田危機管理課長 中大平と堂岡に補助金として55万円ずつ、防災倉庫、発電機、投光器、ヘルメット等の購入費を補助するものである。

総務課

公営住宅管理代行業務委託料733万円

委託の内容は

高橋議員 公営住宅管理代行業務委託料733万円の内容は、小舟団地で長く使われてない部屋があるが、それも補修に含んでいるか。

当初予算不足分を

井上総務課長 当初予算に対する修繕費の不足額を計上している。

内容は退去の修繕の分に224万円、一般修繕費用509万円を上げている。

小舟住宅の長く使用していない部屋の修繕分は、補正予算に含んでいない。

企画課

地域づくり事業補助金115万円



テントを増やし密集防止(明治地区ぐるみ運動会)

補助金の内容は

箭野議員 地域づくり事業補助金の内容は。

運動会用テント3張り

大原企画課長 コロナの交付金を使い、野老山、明治、横島地区運動会用のテント3張り分である。

ふるさと納税プロモーション支援業務委託料 797万円

業務内容と対象地域は

武智議員 ふるさと納税プロモーション支援業務委託料797万円の業務内容と、対象地域は。

ふるさと納税寄付サイト

大原企画課長 ふるさとチョイス、楽天、ふるなび、まほろばの4つのふるさと納税寄付サイトへの委託料であり、全国規模である。

越知のまち小屋建築工事520万円

場所は

山橋議員 越知のまち小屋建築工事520万円の場所は。

地区からの要望があったのか。

今後も造る予定は

山橋議員 今後も市街地にまち小屋を造る予定は。

条件が合えば

大原企画課長 適当な土地や条件が合えば造っていきたい。

8区ローソン向かい側の土地

大原企画課長 8区ローソン向かい側の土地に建築予定である。地区からの要望ではない。



まち小屋建築予定の土地

観光協会補助金120万円



土日も観光案内をしている

内容は

小田議員 観光協会の補助金120万円の内容は。

大原企画課長 土日を開けているので、後期の人件費不足分と、3月に開催予定の桜まつり予算等である。

後期の人件費不足分と桜まつり

住民課

システム改修

112万円

何の改修か

小田議員 システム改修として112万円を計上しているが、何の業務に係る改修か。

住民基本台帳の改修

西森住民課長 住民基本台帳の改修になる。

産業課

補助金の内容は

市原議員 農業近代化推進事業補助金27万円の内容は。

産業祭の中止

田村産業課長 産業祭に対する補助として計上したが、コロナの影響で、中止が決定した。9月補正の計上後に、決定したので、減額する。

内容は

森下議員 捕獲謝礼金の内容は。

狩猟期のシカ10頭

田村産業課長 狩猟期のシカに対する報償費である。シカ1頭当たり8千円で10頭を計画している。

建設課

林道加枝ケ谷横倉線新設工事 500万円



完成のめどが見えてきた

進捗状況は

武智議員 林道加枝ケ谷横倉線の全体計画は何メートルで、何年計画か。また、現在の進捗状況と完成後の効果は。

全体計画845・9mで732・1m完成

岡田建設課長 施業面積は47haを計画している。全体延長は、845・9m、現在完成しているの

が732・1m、今回35mを予定している。残り78・8mとなる。残り2〜3年の計画である。林業者が安全かつ効率的に施業が行えるように既存林道の延伸工事を行い地域林業の効率化を図ることを目的としている。

対象は

武智議員 老朽住宅等除去事業329万円の対象件数は。

2件分

岡田建設課長 今回2件分を計上し、1件は予備としている。

どここの災害復旧か

岡林議員 河川等災害復旧費、現年公共土木施設災害復旧工事2千万円、これはどここの災害復旧であるか。

今後の災害対応に備えるもの

岡田建設課長 令和2年7月豪雨による災害復旧工事に既決予算の支出を予定しているため、今後の災害対応に備えるものである。

教育委員会

土佐のむかし話制作放送委託料 66万円



越知中学3年生が声優を努めた土佐のむかし話

放送内容は

市原議員 土佐のむかし話制作放送の内容は。

柴尾の虫送り

谷岡教育次長 11月から4週にわたり放送予定の柴尾虫送りの制作委託料である。

特別会計補正

安徳天皇潜幸ルート 地図 39万円

どこに設置するか

岡林議員 博物館で購入する安徳天皇潜幸ルート地図は、どこに設置する予定か。

谷岡教育次長 博物館の中に展示する。

議会の組織変更

9月 定例会

議長に寺村晃幸氏 副議長に西川晃氏

議員申し合わせ(任期2年)による正副議長選挙を行い、議長に寺村晃幸(寺村氏6票、武智龍氏4票)、副議長に西川晃氏(西川氏6票、小田範博氏4票)を再選しました。また、任期満了に伴う各常任委員と議会運営委員を次のとおり選任しました。

(◎委員長、○副委員長)

◆総務教育常任委員会

- ◎武智龍、○森下安志
- 山橋正男、寺村晃幸
- 西川晃

◆産業建設常任委員会

- ◎小田範博、○箭野久美
- 岡林学、高橋丈一
- 市原静子

◆議会広報常任委員会

- ◎高橋丈一、○箭野久美
- 市原静子、小田範博
- 森下安志

◆議会運営委員会

- ◎岡林学、○市原静子
- 高橋丈一、武智龍
- 小田範博

財産の取得

小・中学校タブレット 310台の購入契約を可決

教育用タブレット購入

契約の方法 指名競争入札
 契約金額 2661万3400円
 契約相手 株高知事務機 斉藤嘉一
 事業内容 越知小中学校教育用タブレット 他周辺機器一式
 《賛成・全員》



タブレットを利用した生徒総会

新型コロナ対応など7180万円を追加

予算

- ・町内の全児童生徒に配布するタブレット端末や関連機器の購入3503万円。
 - ・中学校エアコン・網戸設置工事949万円。
 - ・公共交通応援事業費補助金622万円。
 - ・おちげよ!熱中塾オンライン授業用備品196万円。
 - ・町出身大学生らへの生活支援事業費171万円など、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金対象事業を含む7180万円を追加、総額を58億163万円とする。
- 《賛成・全員》

7月20日に臨時会を開き、2年度一般会計補正予算、工事請負契約の議案2件を全会一致で可決しました。

こんなことが決まったぜよ

令和2年7月臨時会

質疑

企画課

授業内容と開始時期は

森下議員 おちぜよ！熱中塾のオンライン授業の内容と開始時期は。

講師のオンライン授業と欠席者に配信

大原企画課長 オンライン授業システムの備品を購入する。

講師のオンライン授業、欠席者に配信する授業を計画している。機器の導入後に開始したい。

受講生の割合は

武智議員 町内と町外の受講生の割合は。

町内7人、町外36人

大原企画課長 3期の塾生は、町内が7人。町外が36人、計43人で町内の割合は16%となっている。

工事の請負契約

今成深瀬線改良交付金工事

入札方法	指名競争入札（総合評価方式）
契約金額	4994万円
契約相手	(有)横島建設 井上徳彦
工事場所	横島中（栗ノ木）
工事内容	延長 103m 幅員5m ブロック積499㎡ 法枠工417㎡
工期	令和3年1月5日 《賛成・全員》



安全祈願祭が行われ、光回線の工事が始まる

予算

おち家の絆プロジェクト基金に50万円を追加、総額を58億1213万円とする。

《賛成・全員》

工事の請負契約

高度無線環境整備促進事業 ネットワーク整備工事

入札方法	指名競争入札
契約金額	2億75万円
契約相手	(株)四電工高知支店 森岡孝容
整備地区	(9地区) 鎌井田・浅尾・宮地下・梅ノ森・本村 後山・堂岡・今成・12区（遊行寺）
総延長距離	17Km
工期	令和3年3月31日 《賛成・全員》

一般質問 7人登壇

ズバリ!!

町政を問う

9月定例会は7人が一般質問を行いました。発言内容は紙面の都合で要約していますので、ぜひ議場に足を運んでいただき、白熱した議論を傍聴してください。

なお、全文を記載した会議録は、議会事務局と町のホームページ (<http://www.town.ochiig.jp>) でご覧ください。

森下安志・・・16ページ



- ① ふるさと寄付金 総額と件数は
 - ・元年度の件数と額は
 - ・5項目別寄付金は
 - ・要した費用は
 - ・上位3品は
- ② 環境問題 片岡地区に公衆トイレ設置を

市原静子・・・17ページ



- ① 子ども対策
 - ・「冷却タオル」を無料配布する考えは
- ② 防災対策
 - ・避難所会議に女性の登用は
- ③ 乳幼児支援
 - ・定額給付金を対象外新生児に

小田範博・・・18ページ



- ① 農業行政
 - ・スクミリンゴカイの現状把握は
 - ・有効な対処法は
 - ・中山間地域等直接支払制度交付金の活用は

箭野久美・・・19ページ



- ① 暮らし続けられるまちづくり
 - ・安心して快適な道路整備は
 - ・教育現場での指導は
 - ・受け入れ体制は
 - ・PCR検査を国へ提言すべきでは

高橋文一・・・20ページ



- ① 新型コロナウイルス対策
 - ・長期休校からの取り組み結果は
 - ・国の特定定額給付金等の申請率は

岡林 学・・・21ページ



- ① 1区移住定住促進住宅
 - ・PFI手法の研究を行ったか
- ② 住民からの要望
 - ・1年以上経過報告がない
 - ・山間地域の水確保は
- ③ 災害対策

山橋正男・・・22ページ



- ① 1区移住定住促進住宅用地
 - ・残り1区画の現況は
 - ・塩漬けにするのか
- ② 観光行政
 - ・キャンプフィールドの現在の状況は
- ③ 給食費 2学期以降は



森下安志 議員

問 ふるさと寄付金の総額と件数は。

大原企画課長 平成27年2月から、令和2年8月末まで、7億9085万円、4万5822件である。

問 2年度と元年度同時期を比較した時の寄付金と比率は。

大原企画課長 2年度8月末は3418万円、元年度8月末は2736万円、前年度比124.9%である。

問 要した費用は

大原企画課長 返礼品の代金と郵送料を含めて7143万円になる。

上位3品は

問 2年度返礼品の上位3品の件数と寄付額は。

大原企画課長 1番が野菜セットで、592件、寄付額が1459万円。2番が天然アユで、300件、608万円。3番が芋ケンピセットで333件、167万円である。

環境問題

片岡地区に公衆トイレ設置を

調査検討をする

町長



近くにトイレが欲しいな

問 片岡沈下橋周辺に公衆トイレがないので、環境が悪くなっている。トイレ設置の考えは。

新設となると財政的にも厳しくなる。

大原企画課長 新設のトイレを造ることは難しいと考えている。

小田町長 状況調査を十分した上で、仮設トイレの設置も調査検討をしていきたい。

沈下橋付近は、増水時に水没する。県道18号線寄りの山手側になると最適な場所がなく沈下橋から遠くなる。

野菜セットは抜群の人気



ふるさと寄付金

総額と件数は

7億9085万円で4万5822件

大原企画課長 総額1億9556万円、9852件である。

大原企画課長

- ①産業・経済・観光づくりのための事業2681万円。
- ②防災の強化のための事業1751万円。
- ③教育の充実及び青少年健全育成のための事業5236万円。
- ④スポーツ振興のための事業527万円。
- ⑤その他町長が町づくりのために必要と認める事業9361万円。

子ども対策

「冷却タオル」を無料配布する考えは

3年度以降に検討したい

教育長



市販されている「冷却タオル」

問 児童・生徒の下校時の熱中症予防対策として、首元を冷やす「冷却タオル」を無料配布する考えはないか。

問 新型コロナウイルス感染症に対応した災害時の避難所運営会議に女性の登用を、また避難所の研修等しているのか。

問 国の特別定額給付金の基準日以降に生まれ、支給の対象外になった新生児に対し、1人当たり10万円を支給する制度の創設はできないか。

小田町長 県下で12市町村が新生児への交付金を支給もしくは検討中とのことであるが、本町は現時点で町独自の制度創設は考えていない。本町に割り当てられた臨時交付金は、前倒しで光回線整備等に充てたい。

乳幼児支援

定額給付金を対象外新生児に

制度創設は考えていない 町長



市原静子 議員

問 児童・生徒の下校時の熱中症予防対策として、首元を冷やす「冷却タオル」を無料配布する考えはないか。

防災対策

避難所会議に女性の登用は 女性も委員に定めている

危機管理課長

問 新型コロナウイルス感染症に対応した災害時の避難所運営会議に女性の登用を、また避難所の研修等しているのか。



あふれる笑顔のために



小田 範博 議員



爆発的に増殖しているジャンボタニシ (柴尾地区)

農業行政

スクミリンゴカイの現状把握は 柴尾地区などで増殖 産業課長

問 スクミリンゴカイ (通称ジャンボタニシ) による水稲被害被害は稲作農家にとって大きな問題となっている。柴尾地区は10年ほど前から繁殖が確認され近年爆発的に増殖している。対策を考えなければ、植え付け直後の被害は、今後さらに深刻な問題となり、数年の内に稲が作れない状況となるが、この現状をどのように把握しているか。

田村産業課長 柴尾地区は全域、女川はし尿処理場下、文徳はお堂から下の水田で増殖しているが、その他の地域ではあまり確認されていない。この貝は寒さに弱いがこの数年暖冬傾向にあり越冬する貝が多く増殖していると思われる。

有効な対処法は
問 この貝は1個体が年間に5000個前後の卵を産むと言われている。個体数の少ないうちは、1個1個拾ったり、トラップを仕掛けて駆除をしていたが、近年では手に負えないのが現状である。どのような対応が効果的で、有効な対処法は何と考えているか。

8つの対策と合同防除が有効
田村産業課長 ①薬剤の散布、②厳寒期の耕うん作業、水路の泥上げ、③侵入防止ネットの設置、④早期移植や成苗移植、⑤田植えの直後の浅水管理、⑥餌を入れたペットボトル等での捕獲、⑦卵の除去、貝の捕殺、⑧収穫後の石灰窒素の散布等が挙げられる。この8つの対策に合わせ合同防除が有効と考える。



ジャンボタニシ (左下) と卵 (右上)

中山間地域等直接支払制度の活用は
問 個々での対応は効果が低いので、薬剤を集合で一括購入し共同作業で広範囲に一斉散布すれば効果が上がると思うが、薬剤の購入や作業に掛かる経費に中山間地域等直接支払制度交付金を活用できないか。
活用を進めていきたい

田村産業課長 併せて多面的機能交付金も有効に活用できるので、被害の出ている地区では、こうした制度による交付金の活用を勧めたいと考えている。

暮らし続けられるまちづくり

安心して快適な道路整備は 必要であると認識している

建設課長



車が通れない道が多い市街地

問 山間地域はもとより市街 (住宅密集) 地においても車の通れない道がある。安心して快適な生活を営むための道路整備をどう考えているか。

岡田建設課長 安心・安全に走行でき、災害に強い道路が必要であると認

識している。優先順位をつけながら、国の交付金事業を活用し、土地所有者の理解と協力を得ながら道路整備を進めていく。

教育現場での指導は
問 新型コロナウイルス感染症の流行で「新しい生活様式」が取り組まれている。教育現場での指導・啓発は児童・生徒の家族にも広がり大事であるが、どのように行っているか。

織田教育長 文部科学省より「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」最新版が出ている。感染源・感染経路を断つ、抵抗力を高めることなど基本的な対策を指導するとともに、保護者へも随時知らせている。

基本的な感染対策を指導

この感染症による差別、偏見を生まないための正しい知識などの人権的な指導や、児童・生徒の心の声に耳を傾け、不安の解消にも努めている。

受け入れ体制は
問 リモートワークの増加に伴い「住みたいまち」へ移住する人が増えている。I・Uターンはもとより企業誘致もできるような受け入れ体制を考えているか。

「ふるさとみつけ塾」を実施中

大原企画課長 「越知ぜよ!熱中塾」が参画している熱中学園が国のモデル事業を受託し、都市生活者をターゲットとした第2のふるさとづくりを目指す「ふるさとみつけ塾」プログラムを開発、開講し、関係人口の創出と定着を目指し実証実験を実施中であり、移住につなげていきたいと考えている。



実証実験を実施中の「ふるさとみつけ塾」

保健所機能を十分に発揮してもらう
小田町長 新型コロナウイルスのPCR検査は都道府県がそれぞれ対策しているのが現状である。本町独自ではハードルが高く、保健所の機能が十分発揮するようお願いしている。

企業誘致は、汎用性のある施設整備の研究をする必要がある。
PCR検査を国へ提言すべきでは
問 PCR検査が身近で受けられる仕組みや、持続可能な検査所の構築等を国へ提言すべきでは。



高橋文一 議員

新型コロナウイルス対策

長期休校からの取り組み結果は

授業日数の不足分は解消できた 教育長



リモートで開催された生徒総会

問 長期休校から8月末までの取り組みの結果、9月以降の授業体制や学校行事の決定事項は。

織田教育長 小・中学校とも校務改革により、100時間程度の余剰時間を確保していたこと、夏休みの短縮などで授業日数の不足分は解消できた。学習面は補習等により遅れはほぼ取り戻しができており、9月以降も引き続き実施する。

小・中学校とも交流事業は中止とした。9月以降の運動会や文化祭などは縮小して開催する。

修学旅行は関東・関西圏などを避ける予定であるが、様子を見ながら検討していく。感染症対策は学校の新しい生活様式に準じて3密を避け、今後も対策をしていく。

国の特定定額給付金等の申請率は

問 国の特別定額給付金、県の休業要請協力金の対象業者と、対象外業者への町独自の持続化給付金、感染症防止対策をする店舗の申請率は。今後のイベント開催と避難所対策は。



窓口にスクリーンを設置しコロナ対策

国の特定定額給付金は99・86%

國貞保健福祉課長 国の特別定額給付金10万円の申請率は99・86%。イベントは保健福祉大会を中止とし、その他は縮小して実施する予定とした。

町持続化給付金20万円は申請率33%

田村産業課長 県、町の休業要請協力金30万円は、対象業者29件、申請率69%。

対象とならない事業者に対する町独自の持続化給付金20万円は128件、申請率は33%。

町独自の感染症防止対策給付金10万円は82件、申請率84%。

感染対策補助金は現状35%であるが、10月末まで延期している。

イベントの「おなばれ」とイルミネーションは未定である。

大原企画課長 「おち・まち・そとあそび」は検討中である。

上田危機管理課長 避難所における新型コロナウイルス感染症対応の資機材は、一度に全部そろえることはできないが、今後も続けて準備していく。

1区移住促進住宅

PFI手法の研究を行ったか

予定地の広さでは建設できない 企画課長



PFI手法では採算が合わない

大原企画課長 この手法に詳しい人や専門業者に相談し、先進地を視察研究してきた。

その結果、この宅地面積では、事業の採算が合わないとの結論となった。

問 今後どうするのか。

小田町長 移住促進の観点から、さらに検討を進めていきたい。

住民からの要望

1年以上経過報告がない

経緯を報告するよう指導していく 副町長

岡田建設課長 道路は被災した場合や、舗装の消耗など、優先的に行っている。用地買収や物件補償が発生する場合や、測量や地権者との協議で、着工まで2、3年待たせることもあるが、可能な限り早期に工事するよう努めている。

國貞副町長 現場調査報告は重要案件である。地に経緯を報告したかどうかの確認を併せてするよう指導していく。

問 山間地域の生活用水確保の取り組みや計画はどうなっているか。

山間地域の水確保 山間地域の生活用水確保の取り組みや計画は

支援制度を検討

岡田環境水道課長 管理に必要な資材や修繕費用は、要望があれば予算の範囲内で補助している。生活用水確保は、集落

災害対策

問 元年の大雨により、道路に崩れた土はすぐ撤去されたが、その後1年経っても復旧工事はされていないが、対応は。

岡田建設課長 早期復旧が困難である場合、区長や関係者に、復旧計画を説明するよう努力する。

問 1区移住促進住宅は、民間の資金で建設、運営するPFI手法で集合住宅の計画が出され、研究することであったが行ったのか。

岡林学 議員



山橋正男 議員

1区移住定住促進住宅用地

残り1区画の現況は

6月議会以降問い合わせがない 企画課長

問 一区住宅用地残り1区画の現況は。全4区画の募集はいつから始めたのか。また、4区画分の購入年月日と価格は。

大原企画課長 6月議会以降問い合わせがない。多くの人に知ってもらうため、広報8月号に宅地分譲の記事を掲載した。また、移住者相談で分譲地も紹介している。募集は平成30年2月1日から始めた。28年8月1日、2430万円と28年9月20日、77万円で購入した。

問 塩漬けにするのか。PFI手法は止めるという結論か。この土地は、いつまでに目処が立つのか、それとも塩漬けにするのか。駐車場との話があるがどうするのか。

塩漬けにならないよう努力する。**小田町長** PFI手法でいけると思っていたが、こういうことになり残念である。PFI手法が難しくなったので現時点ではいつまでとは申し上げられないが、塩漬けにならないよう努力する。現時点で駐車場にする考えはない。



残り1区画は2方に面している

観光行政

キャンプフィールドの現在の状況は
通常通り営業している 企画課長

問 かわの駅おち及びおち仁淀川キャンプフィールドの現在の状況は。7、8月利用人数の前年比と内訳は。
大原企画課長 通常通り営業している。キャンプサイト宿泊は7月マイナス67・3%。

8月マイナス6・4%。町内は0人。県内319人。県外1686人。住箱は、キャンプフィールドが8月プラス18・4%。内訳は町内0人。県内133人。県外524人。かわの駅おちはプラス18・4%。内訳は町内4人。県内95人。県外141人である。

GoToに入っているのか

問 キャンプフィールド、住箱はGoToトラベルに入っているのか。入っていない

大原企画課長 入っていない。全国のスノーピーク社が入らないという方向性を示している。

給食費

2学期以降は
元のように負担 町長

問 6月議会で保・幼・小・中生の1学期分の給食費を無料とした。2学期以降も無料もしくは2分の1補助はできないかとの質問に対して、町長は国の2次補正で減らす考えはあると答弁したが、2学期以降の給食費はどうなるのか。

小田町長 2次補正で同じように支援をする必要があればしなければならぬと考えていた。今は緊急事態宣言下ではないので、2学期からは給食費を元のように負担していたら考えである。

広域議会

第3回定例会が8月31日に開かれ、元年度各会計決算認定と2年度一般会計補正予算など5件を全員賛成で認定・可決しました。

組合長報告

コロナ対策を補正

新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上でサービスをしている事業所に対し、県から支援金として交付される額を有効利用するため、補正予算に計上した。



家族とガラス越しに話せるようになった(五葉荘)

特養は赤字決算

元年度特別養護老人ホームの収支は、4619万円の赤字決算となっている。もみじ荘、あがわ荘の空調設備改修と退職者の集中による退職負担金が必要である。

養護も赤字決算

元年度養護老人ホームの収支は、281万円の赤字決算となっている。新規入所者はなく、定員割れの運営となっている。今後も措置費収入の減少傾向は続くと思われる。入所定員の減員に伴う職員の減員等についても検討する必要がある。

2年度補正予算

質疑

どれくらい能力のものを購入するのか

坂本玲子議員 どの施設も空気清浄機を購入予定であるが、どれくらいの能力のものを購入するのか。

詳細は把握していない

堅田春日荘所長 加湿機能付き空気清浄機を購入予定であるが、詳細な能力は把握していない。家庭用より二回り大きいもので、主に夜間の使用を想定している。

決算認定(元年度)

会計名	歳入	歳出	
一般会計	15億1962万円	13億9888万円	
特別会計	特別養護老人ホーム	13億4973万円	12億5824万円
	養護老人ホーム	1億3075万円	1億520万円
	障害者支援施設	3億2174万円	1億6594万円
	ふるさと市町村圏	393万円	17万円
合計	33億2577万円	29億2843万円	

利用率低下の要因は

竹本文直議員 利用率の低下の要因を把握しているのか。

入院される人が多い
小野五葉荘所長 特別養護老人ホームは、要介護3以上の人の入所となっている。病院に入院される人が多く利用率の低下となっている。



要介護3以上の人が入所されている五葉荘